

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	57	—	事業名	消防活動事業	担当部課	消防署
------	----	---	-----	--------	------	-----

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	10	住民を守る消防・救急サービスを充実する	款	8	消防費
		施策の進め方	1	消防体制の強化	項	1	消防費
	まちづくり 行程表	フラッグ	F2	「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～	目	1	常備消防費
		政策分類	6	地域の安心安全をみんなでつくる	大事業	5	消防活動事業
その他(関係法令、要綱等)	・消防法 ・長久手市消防本部警防規程 ・警防勤務要綱						
事業開始の背景、経緯等	・市民の安心・安全を守ることを目的に、昭和55年に消防本部及び消防署を設置し、消防体制の充実強化を図り安全で災害に強いまちづくりに取り組んでいる。						

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ・迅速かつ効果的な災害対応を行なうため、消防隊員の教育、訓練及び資機材の整備を行う。 ・市民や事業所に対し消防訓練及び火災予防普及啓発を行う。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) ・消防職員、市民及び事業所					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) ・災害時の被害軽減を目的に、職員が専門的な知識を習得する。 ・消防訓練等を通じ市民らとの連携強化を図る。					
	事業を構成する事務事業	① 消防署事務事業	現状維持	④ 消防隊員育成事業	現状維持		
	② 消防活動事業	現状維持	⑤ 消防訓練事業	現状維持			
	③ 女性消防クラブ活動支援事業	現状維持	⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	事業費(A)	千円	予算 決算				6,623 7,306	6,785 5,563
人件費(B)	千円	決算				236,014	237,164	
総コスト(A)+(B)	千円	決算				243,320	242,727	

成果推移	成果指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	A 各種別特別教育の受講	%	目標	40	35	35	35	35
			実績	41	34	37	38	32
	B 出火率(人口1.0万人あたり)	件	目標	3.5	3.5	3.2	3.2	3.2
実績			2.9	3.2	2.0	1.8		
C		目標 実績						

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A 各種別特別教育を受講した職員の割合により、出動要員全体の必須教育習得者の割合が分かる。(各年度出動要員が必須教育を全て習得した場合を100%としたときの割合により算出)

B 人口1.0万人あたりの出火割合の増減により、市民及び事業所の防火意識の高さが判断できる。

C

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) ・都市化が進む中、災害や事故が複雑・多様化しており、各種災害への対応力を強化することを目的に、平成28年4月から、日進市、みよし市、東郷町を管轄する尾三消防組合と豊明市との間で、「尾三消防組合・豊明市・長久手市消防広域化協議会」を設立し、消防の広域化について検討・協議を行っている。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) ・特別教育は年間14人が受講したことにより、職員の受講者割合が前年度より1%の増加となった。 また、隊員育成、消防訓練及び防火啓発活動を行ない、市民の防火意識の高揚も図られ人口1万人あたりの出火率は前年度を下回ることができた。
	事務事業全体を見た課題	・経験年数の浅い職員に対し、集中した教育及び訓練を行なう必要がある。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) ・各種別特別教育の受講を継続させながら、経験年数の浅い職員に対して集中的に基礎訓練等を実施して行く。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) ・5年後の2022年までに、各種別特別教育を受講した職員の割合を70%にする。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		消防活動事業										
番号	①	事務事業名	消防署事務事業		款	8	項	1	目	1	大事業	5	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		昭和55年度		終了（予定）年度	—								

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) ・消耗品の管理及び仮眠用の布団等の整備を行っている。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) ・常に最良の状態に保ち、活動に支障のない環境を保てるよう維持管理を行なう。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			1,123	1,410	1,410
		決算			1,289	1,304	

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
布団衛生管理組数	組	目標			612	624	624
		実績			566	581	
		目標					
		実績					

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

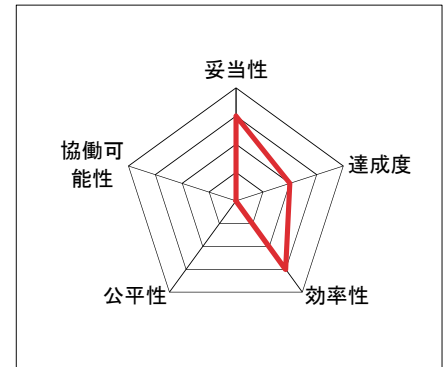
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) ・労働安全衛生法に基づき職員の健康障害を防止するための基本となるべき対策を講じる必要があるため、消防職員の健康管理及び衛生管理に努める。
--

tameno

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
今年度新規対象
(何をどのような状態に改善したのか)

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	-
協働可能性	-



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど) ・一つの仮眠室を3人で共同使用しているが、インフルエンザ等感染症を発症した時に感染を抑制できた。
---

### 【ウィークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど) 特になし
----------------------------------

## 7. 今後の方向性

**現状維持**

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) ・消防職員の健康管理及び衛生管理を図ることで、消防力を維持し、市民を災害から守ることができるため、健康障害防止対策として、一人布団一式のリースを継続していく必要がある。
--

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		消防活動事業										
番号	②	事務事業名	消防活動事業		款	8	項	1	目	1	大	5	中	2
事務事業の期間		事務事業開始年度		昭和55年度		終了（予定）年度		—						

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	・迅速かつ効果的な災害対応を行なうため、消防資機材の整備及び維持管理を常時実施している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	・消防・救助活動を安全で迅速に行うため、必要な資機材の配備及び点検整備をすることにより、即応体制を整える。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			4,802	4,533	3,981
		決算			5,286	3,833	

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
資器材点検台数	基	目標			10	10	10
		実績			10	10	
ポンベ充填等管理数	本	目標			183	141	186
		実績			149	154	

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

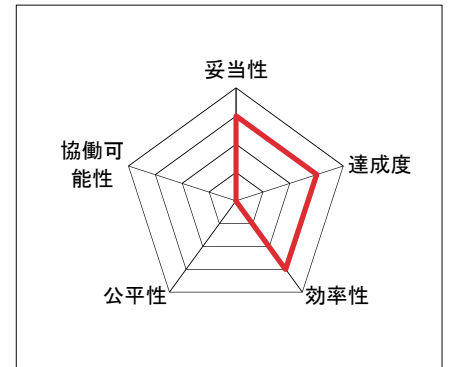
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
・都市化が進む中、災害や事故の複雑・多様化により、各種災害に的確に対応できるよう高度な資機材の整備が必要となる。

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
今年度新規対象
(何をどのような状態に改善したのか)

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	—
協働可能性	—



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
・資機材の点検整備を実施することで消防救助隊員の安全確保が図れた。

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
特になし

## 7. 今後の方向性

現状維持

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
・複雑・多様化する災害に対し、安全で迅速な消防救助活動が行えるように資機材の整備をしていく。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		消防活動事業									
番号	③	事務事業名	女性消防クラブ活動支援事業	款	8	項	1	目	1	大	5	中	3
事務事業の期間		事務事業開始年度		平成27年度		終了（予定）年度		—					

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性消防クラブ員が事業活動中に怪我等により罹災した場合の費用補償を行っている。</li> <li>市内5ヶ所に設置する軽可搬消防ポンプ及び署で管理する軽可搬消防ポンプの維持管理を行っている。</li> </ul>
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性消防クラブ員が安心して初期消火、火災予防普及啓発活動及び初期消火指導ができるようにする。</li> <li>常に災害対応できるように資器材を整備する。</li> </ul>

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			71	166	150
		決算			89	90	

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
損害保険加入者数	人	目標			113	114	114
		実績			113	114	
点検ポンプ台数	機	目標			6	6	6
		実績			6	6	

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

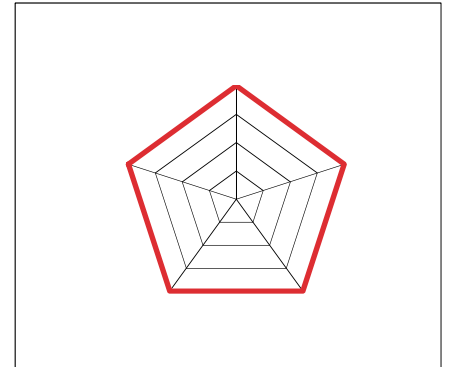
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
<ul style="list-style-type: none"> <li>女性消防クラブ員の活動内容に適した保険に加入して行く。</li> <li>平成27年度から軽可搬消防ポンプの点検業務委託を開始し、点検に伴う修繕料を平成28年度より予算計上したもの。</li> </ul>

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
今年度新規対象
(何をどのような状態に改善したのか)

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
<ul style="list-style-type: none"> <li>損害保険に加入することで安心して活動ができた。</li> <li>資器材を常時良好な状態に保てた。</li> </ul>

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
<ul style="list-style-type: none"> <li>保険料、点検手数料など予算作成時より金額が変更される場合がある。</li> </ul>

## 7. 今後の方向性

現状維持

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
<ul style="list-style-type: none"> <li>女性消防クラブ員全員が安心して活動できるよう、損害保険に継続加入する。</li> <li>資器材を常時良好な状態に保つ必要がある。</li> </ul>

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		消防活動事業									
番号	④	事務事業名	消防隊員育成事業	款	8	項	1	目	1	大	5	中	4
事務事業の期間	事務事業開始年度		昭和55年度	終了（予定）年度	—								

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)	・消防隊員が災害対応に必要な知識・技術を習得するため、各種特別教育や救助隊員シンポジウムに出席している。
	意図	(対象をどのような状態にしたいか) ・日常訓練で培うことが困難な知識や技術を習得する。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			527	505	484
		決算			478	217	

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
特別教育等の習得者数	人	目標	5	11	14	15	15
		実績	8	16	19	14	

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

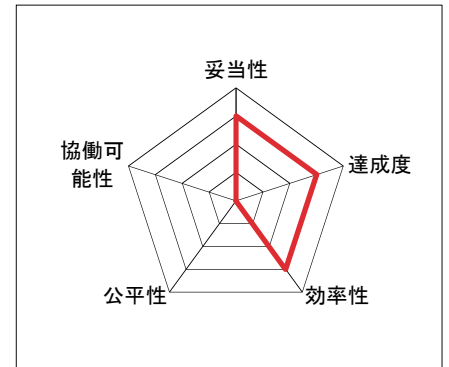
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
・都市化が進む中、災害や事故の複雑・多様化により、高度な技術が要求されるため、専門的な教育が必要になる。

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
・多様化するニーズに対応するため、高度な訓練や教養を重ね、また、他の消防本部との合同訓練へ積極的に参加し最新消防戦術の習得を図る。
(何をどのような状態に改善したのか)
・他市で開催される合同の消防・救助訓練への参加・見学を行い活動技術の向上を図った。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	-
協働可能性	-



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
・採用年数の若い職員が増え各資格取得が必要となる。多くの事例等に触れるため学会等に参加することができた。

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
・昨年開催があった講習会が今年度開催がなかったため受講者数が目標に達しなかった。

## 7. 今後の方向性

現状維持

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
・複雑・多様化する災害や事路に対応するため、高度な訓練や教養を重ねる。また、他の消防本部との合同訓練へ積極的に参加し最新消防戦術の習得を図る。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		消防活動事業									
番号	⑤	事務事業名	消防訓練事業	款	8	項	1	目	1	大事業	5	中事業	5
事務事業の期間	事務事業開始年度		昭和55年度	終了（予定）年度	—								

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域自治会や事業所を対象に消防訓練を行い、通報・避難時の正しい対応や初期消火を指導している。</li> <li>・ 消防隊に対し様々な想定訓練を行っている。</li> </ul>
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訓練を実施することで、災害による被害を軽減する。</li> </ul>

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			100	171	187
		決算			164	119	

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
市民・事業所との消防訓練等	回	目標	4	4	5	5	5
		実績	4	4	5	6	
		目標					
		実績					

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

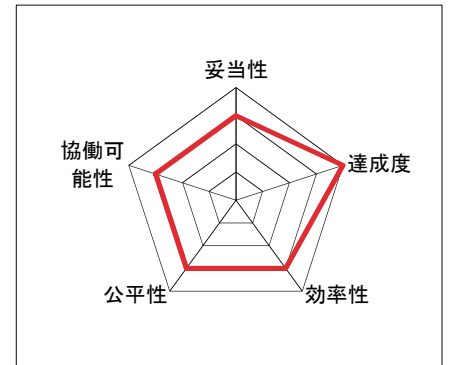
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近年大規模な住宅地や大型店舗が建設され、住民や事業所との連携が求められる。</li> </ul>

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員による訓練のみならず、事業所関係者及び市民参加型の訓練や行事を開催し、防火意識を高めることが被害の軽減に繋がるものである。</li> <li>・ 今後も、市民・事業所等と連携することで、防火・防災意識の向上を図る。</li> </ul>
(何をどのような状態に改善したのか)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 例年実施している文化財防火訓練や出初式などで、事業所関係者及び市民参加型訓練を実施してきましたが、新たに狭隘地区において地域住民と連携した訓練を実施した。</li> <li>・ 消防隊については、廃棄車両を使用した訓練を実施することで、実災害に近い訓練が可能となった。</li> </ul>

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	4
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 狭隘地区において、地域住民参加の消防訓練を行い連携強化が図れた。</li> </ul>

### 【ウィークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
特になし

## 7. 今後の方向性

**現状維持**

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内においては、今後も大規模な住宅地や大型店舗が建設されることから、住民や関係者との連携を強化し、消防隊は、多種多様な災害想定で訓練を実施していく。</li> </ul>